

1. 【開催案内】「翻訳における文化－世界歴史・世界文化・世界社会－
トランスカルチャーにおける日本とドイツ、世界の比較」
2. 【日本政府観光局からのお知らせ】
国際会議海外キーパーソン招請事業「Meet Japan」のご案内

■-----

【開催案内】「翻訳における文化－世界歴史・世界文化・世界社会－
トランスカルチャーにおける日本とドイツ、世界の比較」

-----■

2017 年 11 月に開催した日独合同 DFG シンポジウム（日本学術会議後援）を受け継ぎ、両国の人文・社会科学系研究者の対話を深める。初日午前中は、人文・社会科学をめぐる学術政策に関するラウンドテーブル、午後・二日目は研究交流のためのパネル・ディスカッションを行う。後者においては、日本の人文・社会科学を翻訳により紹介していくことを目指す。テーマは、グローバル化とそれに結びつく広義のトランスカルチャリティの過程であり、次の 3 つの問いをめぐって展開される。

- 現在、世界の歴史、世界の文学、世界の社会について、どの程度のことを、どのような意味で語ることができるか。
- 現在のトランスカルチャリティはどのようにつくられ、とくに世界の歴史、世界の文化、世界の社会の中のどこにそれが見られるか。
- トランスカルチャリティ、世界の歴史、世界の文化、世界の社会との接し方において、日本とドイツにはどのような類似性が見られるか。

- ◆主催：日本学術会議第一部、ドイツ研究振興協会（DFG）
- ◆日時：令和元年 10 月 10 日（木）9:30～17:15（9:00 受付開始）
令和元年 10 月 11 日（金）9:00～12:30（8:30 受付開始）
- ◆会場：東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール
（〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1）
- ◆参加費：無料
- ◆事前申し込み：要（当日受付も可）

ポスターはこちらから↓

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/279-s-1010-1.pdf>

【問い合わせ・申し込み】
ドイツ研究振興協会（DFG）日本代表部
電話 03-3589-2508
佐藤愛子（Aiko Sato）aiko.sato@dfg.de

■-----

【日本政府観光局からのお知らせ】

国際会議海外キーパーソン招請事業「Meet Japan」のご案内

◆国際会議海外キーパーソン招請事業のご案内について

日本政府観光局（JNTO）では、国際会議の日本への誘致促進を図るため、海外のキーパーソンを日本へ招請する「国際会議キーパーソン招請事業（Meet Japan）」を実施しています。

国際会議を誘致中、あるいはこれから誘致をご検討されている方はぜひご連絡ください。

詳細はこちら：

https://mice.jnto.go.jp/assets/doc/meetjapan/2019/MJ2019_info.pdf

●期日：2019年12月8日(日) - 12月13日(金)

●招請の条件

以下の条件を満たす国際団体の候補地選定のキーパーソンの方（各団体1名）

1. 5年以内に日本への誘致活動を開始する可能性のある会議に携わっていること
2. 当該会議の参加者の総数が200名以上（うち30%以上が外国人）であること
3. 日本での開催都市が決定していないこと

●招請人数 20名程度

●日程

1日目：ウェルカム・レセプション

2日目～4日目：都市視察(2都市、2泊3日)※視察都市は会議の種類や規模、特性等に合わせて設定します。

5日目：被招請者と日本側コンベンションビューローとの商談会・フェアウェルパーティー

●申込締切日：2019年8月30日（金）

申込書はこちら：

https://mice.jnto.go.jp/assets/doc/meetjapan/2019/MJ2019_form.doc

【お問合せ先】

日本政府観光局(JNTO) MICE プロモーション部

担当：野村、齋藤、大平

電話：03-6691-4852

メールアドレス：meetjpn@jnto.go.jp

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=385&m=45018&v=293e7355>

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=386&m=45018&v=1cd3c506>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=387&m=45018&v=b9585508>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34